

当院で透析導入を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2019年1月～2023年12月の間に、心不全を合併する末期腎不全で入院し、血液透析あるいは腹膜透析を導入した方

【研究課題名】心不全を合併する末期腎不全における腹膜透析と血液透析導入後の心機能の比較検討 ―心不全に対する透析療法に関する研究―

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 腎臓高血圧内科 医師 松尾 実紀

【研究の目的・意義】

心不全を合併した末期腎不全患者の腎代替療法において、腹膜透析は心不全症状の改善や心不全入院の抑制が示されているにも関わらず、未だ普及率が低く、血液透析と比較したエビデンスは不十分であり、ガイドラインにも明記されていない。この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、心不全を合併した末期腎不全患者を対象として腹膜透析と血液透析導入後の心機能の変化を比較し、適切な腎代替療法の選択基準を明らかにすることを目的としています。

【利用する診療情報等】

既往歴または診断名、喫煙歴、日常生活動作、身体所見、処方薬剤、バスキュラーアクセス（血液透析に使用する血管作成あるいはカテーテル留置）の種類、カテコラミン使用歴、経皮的心肺補助装置使用歴、腹膜透析処方、血液透析条件、1日尿量、血液データ（腎機能、肝機能、貧血など）、尿検査データ、血液透析時血圧維持療法、血液透析中のモニター所見、腹膜機能検査データ、Kt/V（透析の効率）、心臓超音波検査データ、シャントエコー

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】 研究許可日より 2028 年 12 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の研究計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 腎臓高血圧内科 医師 松尾 実紀
電話：06-6170-1070